

玉振り子役の衣装など整備 コミュニティ助成事業

地域の健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、宮原三神宮下宮獅子保存会(永松太会長)が玉振り子役の衣装、勢子のハッピや銅鑼(楽器)などを新しく整備しました。

下宮獅子保存会では、昭和53年に町内有志により手作りされた獅子頭や玉振り子役の衣装などで、毎年10月13日の宮原三神宮秋季例大祭や元旦の初詣で獅子舞の奉納を行ってきました。この事業は、宝くじ社会貢献広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成決定を行うもので、今後の宮原三神宮下宮獅子保存会のますますの活性化が期待されます。



▲新しく整備された玉振り子役の衣装

ひかりん登場 くまもとラーメン祭

2月10日、グランメッセ熊本で行われた第5回くまもとラーメン祭ご当地キャラクター大集合!に、氷川町PRキャラクターひかりんが参加しました。

会場には、親子連れの姿が多く見られ、行く先々で子どもたちの歓声に迎えられました。ひかりんを初めて見たという人も多く、氷川町をPRする良い機会となりました。

また、ステージでは県内外のゆるキャラたちと尻相撲対決を行ったり、子どもたちと写真撮影大会を行ったりするなど、多くの人と触れ合いました。

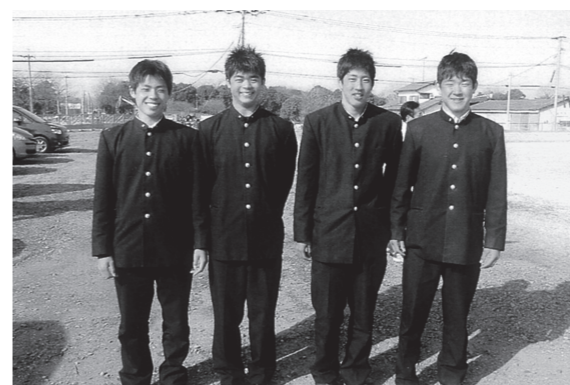


▲子どもたちに大人気

出場めどむいびくります 九州大会出場選手激励会

2月15日、役場庁議室において、藤本町長より出場選手へ激励費が手渡されました。大会名、出場選手名については、次のとおりです。

- 【大会名】
第35回全九州高等学校
新人ラグビーフットボール大会
- 【出場選手名】
鳥居 大暉くん
(熊本工業高校2年・桜ヶ丘)
村上 和好くん
(熊本工業高校2年・桜ヶ丘)
元田 翔太くん
(熊本工業高校2年・下宮)
山元 康平くん
(熊本工業高校2年・早尾)



▲左から山元康平くん、元田翔太くん、村上和好くん、鳥居大暉くん

八火先生の遺徳をしのいで 八火図書館まつり

2月23日、氷川町公民館において第39回八火図書館まつりが行われました。

この本まつりは、株式会社電通の創始者でもある光永星郎氏(八火先生)・八火は星郎氏の雅号で八代出身であることと火(氷)川で生まれ育ったことから【の遺徳をしのび、読書を通じて立派な人になつてもらおうと、命日である2月20日前後に行われています。

この日は、読書感想文・感想画・多読賞の表彰をはじめ、児童・生徒による読書感想文発表や劇団パレットによる「シンデレラ」の人形劇などがあり、本に触れる楽しさを学んだ一日となりました。



▲感想文を発表する長尾有希子さん(竜北中3年)

特産品ひょうたんコンクール ぐるりんグルメコンクール

2月24日、第2回ぐるりんグルメコンクール(八代海北部沿岸都市)地域連携創造会議主催)が八代ロイヤルホテルで行われました。

このコンクールは八代海北部沿岸の氷川町・八代市・宇城市・上天草市の特産品のおいしさを広く伝えるため、地域の食材を利用したレシピを募るものです。

参加者は、それぞれに素材の良さを生かした料理を披露。氷川町からは2組の応募があり、食と農をつなげ隊 河野京子さん(北鹿野)の「生姜の甘麴」が最優秀賞を、堀川加奈子さん(新村南)の「我が家のおもてなしタルト」が宇城市賞を受賞しました。



▲左から河野京子さん、審査委員の藤本町長、堀川加奈子さん

おいっく氷川のはなび 学校給食にいちご贈呈

2月26日、八代地域農業協同組合和鹿島いちご部会(浜田英昭会長)より、町内の小・中学校の給食用としていちご2300個が贈呈されました。

宮原小学校2年生の教室では、いちご農家の前田義美さん(中網道)よりいちごの由来などについて苗やわらを使って話がありました。前田さんから「いちご好きな人。」と聞かれると、子どもたちは元気よく手を挙げ「はい。」と答えていました。

いちごは、この日の給食でデザートとして出され、子どもたちは大喜びで食べていました。



▲前田さんも一緒に給食を食べました

施設野菜部門で秀賞 熊本県青年農業者会議

2月26日、熊本県庁において熊本県青年農業者会議が行われました。

この会議は、熊本県内にある4日クラブ員が日々の研究成果を発表する大会で、氷川町からは宮崎修太さん(西網道)がプロジェクト発表部門の施設野菜部門で、色とりどりのミニトマトを詰め合わせた「宝石トマト」の販売やその可能性について、日ごろからの取り組みを発表し、見事秀賞を受賞しました。

また、宮崎さんは八代市の青年農業者3人と組織するチームトマトにおいて、共同プロジェクト部門で秀賞を受賞しました。



▲宝石トマトを手にする宮崎修太さん

今年も大盛況 氷川町ひなまつり展

江戸時代から現代に至るまでのさまざまな雛人形や天井から吊るす飾り物の「さげもん」など約3000体を展示した氷川町ひなまつり展が3月24日までまちづくり酒屋で行われました。

今回で11回目を迎えるひなまつり展には、県内外より約7000人の来場があり、美しく艶やかな人形に訪れた人たちは目を奪われていました。

また、期間中にはさまざまなイベントも行われ、十二単衣の試着体験やものづくり体験講座、おやじライブ実行委員会による「歌声喫茶」などもあり、来場者を楽しませていました。



▲部屋いっぱいの雛人形